

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

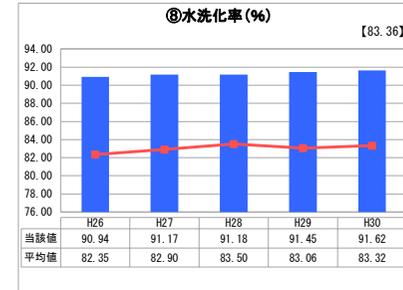
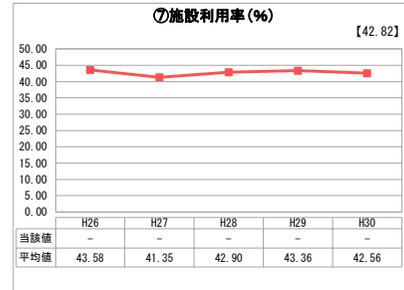
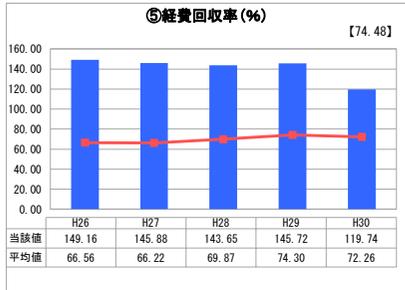
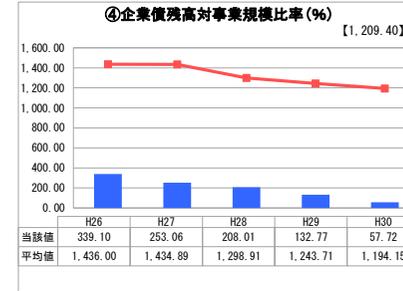
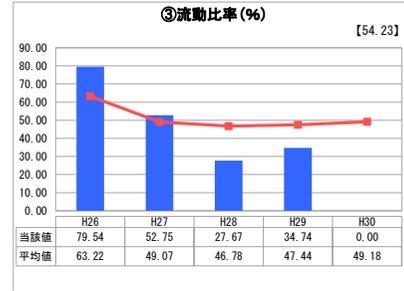
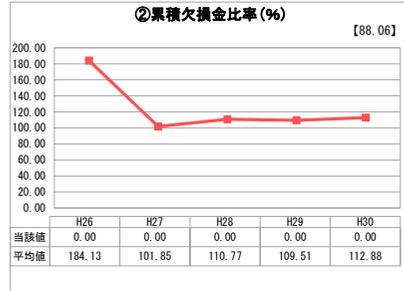
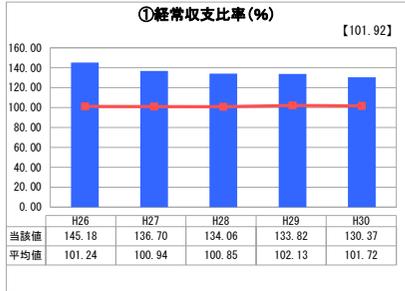
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	93.83	1.69	92.64	2,710

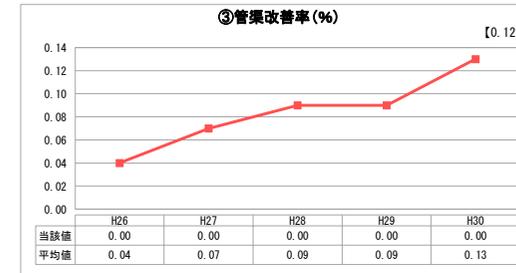
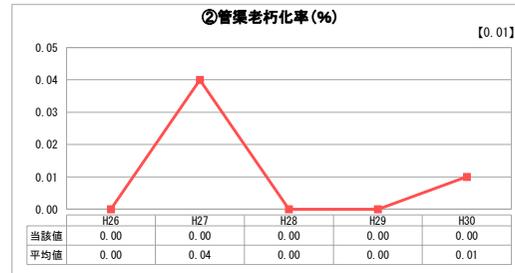
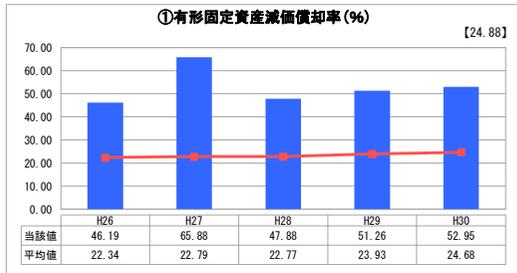
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
56,066	47.48	1,180.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
943	0.32	2,946.88

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支は黒字が続いており、経営状況は安定しています。
- ②累積欠損金は発生していません。
- ③当市の特環下水道は、公共下水道に接続されており資産の多くは公共下水道のため、流動資産はすべて公共下水道としています。公共下水道との合算数値においては、流動比率は100%を超えており、次年度の企業債償還に支障を生じることはありません。
- ④令和2年度には企業債の償還が終了する予定であるので、当該数値は良好になる見込みです。
- ⑤当市の特定環境保全公共下水道は公共下水道に接続され、終末処理場を有していないため経費回収率は高くなっています。
- ⑥平均値と比較してかなり低い値となっています。要因については⑤と同様です。
- ⑧水洗化率向上のため、引き続き普及促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

- ①当該事業は、平成4年の供用開始から26年が経過し、管渠については法定耐用年数の半分以上を経過しているため、当該値は平均値に比べ高い数値となっています。
- ②法定耐用年数を経過した管渠は無いが、今後予想される管渠の更新を見据え、点検等を計画的に実施してまいります。
- ③今後発生する管渠の更新工事にあたっては、費用対効果を検証して効率的に実施してまいります。

### 全体総括

当市の特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道の終末処理場に接続されているため、他団体と比較し維持管理費は低くなっています。その要因から経営指標は、良好であり経営状況は安定していることが伺えます。今後も水洗化率の向上のため普及促進を図り、使用料収入を確保するとともに、施設の効率的な維持管理に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。